2020年度　専門セクションの活動　ver.202104.

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携（地域連携）	2020年度の活動内容（学生交流・人材育成に係る活動）	参画者の氏名
(1) 医療健康	東海大学		・極東連邦大学 ・サハリン国立大学 ・モスクワ国立大学 ・国立研究大学高等経済学院（HSE） ・極東国立医科大学 ・サハリン国立大学 ・極東連邦大学附属病院 ・北斗医療センター（ウラジオストク） ・北斗リハビリセンター（ウラジオストク）等	・神奈川県伊勢原市役所 ・未病センター（神奈川県）	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 ・受入留学生：極東連邦大学（2020年10月～2021年2月：3名、2020年11月～2021年8月：1名）、高等経済学院（2020年10月～2021年2月：3名、2020年10月～2021年8月：1名）、サハリン国立大学（2020年10月～2021年2月：2名）、計10名。 オンライン短期プログラム：極東連邦大学・極東国立医科大学（2021年2月 22名） ・派遣留学生：ロシアへの派遣実績はなし。 オンライン短期プログラム：極東連邦大学（2021年3月 30名（予定）） ② 企業・地方自治体等との連携 2020年11月：ジョブフェア開催（2回）日露のビジネス経験者によるセミナー	山本 佳男
(1) 医療健康	長崎大学	被ばく医療	・北西国立医科大学 (・ゴーメリ国立医科大学 ・ベラルーシ国立医科大学)	・福島県立医科大学 ・福島県川内村 ・福島県富岡町 ・福島県大熊町 ・原子力安全研究協会 ・アルパイン株式会社	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 学生交流（オンライン講義及び実習） 本専攻：10月「リスクコミュニケーション学」/「長崎大川内村実習」・「救急医学実習」 12月「放射線防護学Ⅰ・Ⅱ」 ロシア北西医科大学：2月「生物統計学」 北西国立医科大学と長崎大学との間における学術交流協定 ② 企業・地方自治体等との連携 北西国立医科大学の留学生は災害・被ばく医療科学共同専攻学生と共にオンラインで福島県川内村の長崎大学 川内村復興推進拠点、一般社団法人 かわうちラボ、食品検査場（川内村及び富岡町）、東京電力 廃炉資料館及びふたば医療センターにおいてフィールド実習を行った。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） ・講義を3大学の学生がオンライン共修 10月 リスクコミュニケーション学及び長崎大川内村実習（長崎大学）、10月 救急医学実習（福島県立医科大学） 12月 放射線防護学Ⅰ・Ⅱ（長崎大学）、2月 生物統計学（北西国立医科大学） ・遠隔テレビ会議（日露3大学） ・HPの更新及び日本留学フェアへの参加等の広報活動を行った。	高村 昇
(1) 医療健康	新潟大学	医学・医療全般	・クラスノヤルスク国立医科大学 ・極東国立医科大学 ・北東連邦大学 ・サンクトペテルブルク国立大学 ・太平洋国立医科大学 ・カザン連邦大学 ・カザン国立医科大学 ・モスクワ国立大学 ・モスクワ国立第一医科大学（セチェノフ大学）	・新潟県 ・新潟市 ・環日本海経済研究所（ERINA） ・株式会社 第四銀行 ・三井物産株式会社 （日露医学医療交流コンソーシアムにいがた）	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 ・医療健康セクション（主催：新潟大学, クラスノヤルスク国立医科大学）として、2020年12月、日露の医学生向けに最先端の医学研究や臨床技術を紹介する「日露共同オンライン医学講義」を実施した（日露の計4大学から6講義実施。3日間で延べ約1,600名が参加）。 ・オンライン医療英語集中講座（主催：セチェノフ第一モスクワ国立医科大学、10月）本学から学生が参加し、ワークショップや模擬カンファレンスなどを中心に、5日間集中的に医学者・医師としての英語を学んだ。 ・国際医学生フォーラム（主催：新潟大学、セチェノフ第一モスクワ国立医科大学、10月及び12月）日露の医学生が医学部における教育や研究、コロナ禍での学生生活などを紹介し合い、意見交換を行った。 ・国費外国人留学生1名を受入。	山川 詩保子
(1) 医療健康	福島県立医科大学	被ばく医療	・北西国立医科大学 (・ゴーメリ国立医科大学 ・ベラルーシ国立医科大学)	長崎大学	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 （1）2020年10月、北西国立医大学生8名に対して川内村救急医学のオンライン実習を実施（長崎大学と共同）。 （2）2021年2月に修士学生1名が北西国立医科大学の「生物統計学」をオンライン受講。単位互換を予定（長崎大学と共同）。 ②　企業・地方自治体等との連携 長崎大学 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） （1）北西国立医科大学との修士ダブルディグリープログラム実現に向けたオンライン会議（長崎大学と共同）。 （2）2020年11月に、ロシア極東地域、中央アジア地域向けの日本留学フェアに参加し、広報活動を実施。	和栗 聡

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携（地域連携）	2020年度の活動内容（学生交流・人材育成に係る活動）	参画者の氏名
(1) 医療健康	金沢大学	・脳神経科学 ・予防医科学 ・がん医科学 ・循環医科学	・カザン連邦大学 ・ クラスノヤルスク国立医科大学 ・サンクトペテルブルグ国立第一医科大学 ・タタルスタン共和国がんセンター	理化学研究所	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 世界展開力強化事業（ロシア）の「先制医療プログラム」プログラムにおける交流から波及し、2020年度は金沢大学交換留学プログラム（KUEP）において4月～9月に3名の学部生がクラスノヤルスク国立医科大学から留学を予定していたが、COVID-19の影響により中止となった。該当学生は2021年度4月より再度留学予定である。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 2017年度から実施している世界展開力強化事業（ロシア）の体系的で多層的な学生交流プログラム「先制医療プログラム」に2020年度はクラスノヤルスク国立医科大学、サンクトペテルブルク国立第一医科大学及びカザン連邦大学から博士課程学生が5名参加予定であたが、今年度はコロナ禍の影響によりラボローテーションが行えなかったため　いくつかの講義教材を講義用の動画投稿サイトにあげ、それを閲覧・レポート提出という形で交流を行った。 また、2020年9月29日にはカザン連邦大学、クラスノヤルスク国立医科大学との共催でオンラインシンポジウムを開催し、金沢大学から博士課程の大学院生4名と教員が参加し、大学院生はオンラインにて発表を行った。また、このシンポジウムにはカザン連邦大学やクラスノヤルスク国立医科大学から教員・大学院生も参加し、活発な意見交換があった。今後の共同研究などに繋がることが期待される。	原 章規
(1) 医療健康	筑波大学		・ロシア国立研究医科大学 ・モスクワ国立大学 ・カザン連邦大学 ・ノヴォシビルスク国立医科大学 ・太平洋国立医科大学 ・ロシア各地の病院		③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 2020年12月、日露の医学生を対象としたHaRP医療健康セクション講演会（@クラスノヤルスク国立医科大学）にて本学教員が講演を行った。	山本 祐規子 インセバーエヴァ サビーナ
(2)都市づくり	北海道大学	寒冷地適応型省エネ技術	・北東連邦大学 ・サンクトペテルブルク国立建築土木大学 ・ウラル連邦大学		③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 9月30日に開催されたオンライン寒冷地セミナー「北方圏における日露連携」にて「寒冷地の建設技術とデザイン」をテーマとした分科会を設け、北海道大学のほか、ロシアから北東連邦大学、サンクトペテルブルク国立建築土木大学、ウラル連邦大学などの教員・学生が約30名参加し、研究発表を行った。	瀬戸口剛, 森太郎
(2)都市づくり	北海道大学	寒冷地適応型省エネ技術	ムルマンスク国立工科大学		③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） Arctic University of Norway, UiT（ノルウェー）、ムルマンスク国立工科大学（ロシア）、北海道大学（日本）で協働して北極域・寒冷地の都市計画や建築技術について研究交流や学生交流を行うことを目的に2020年度より組織されたARUP (Arctic Urban Planning and Design - Research and Education Network）の活動の一つとして、オンラインでの国際会議を開催。北海道大学は企画運営のほか、プレゼンテーションおよびパネルディスカッションに教員3名が参加した。	瀬戸口剛, 森太郎, 渡部典大
(2)都市づくり	北海道大学	寒冷地適応型省エネ技術	・太平洋国立大学（NIoNC2021主催）	・関東学院大学	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 海外ラーニング・サテライト「日露デザインスクール」のプログラムとして、教員2名と学生2名が太平洋国立大学主催の国際研究交流会「New Ideas of the New Century-2021」に参加。例年ハバロフスクの太平洋国立大学にて開催されていたが、本年は新型コロナウイルス感染拡大のためオンラインで開催された。参加学生は研究発表を行い、教員はレクチャーを行った他、今後の交流活動に関する意見交換を行った。 本イベントでは、主催の太平洋国立大学のほか、ロシアからはサンクトペテルブルク国立建築土木大学、極東国立交通大学、アムール国立大学、ウファ国立石油技術大学、ウラル連邦大学などの学生も参加し、研究発表を行った。	瀬戸口剛, 渡部典大
(3) 中小企業交流	金沢大学		カザン連邦大学		③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 日露間で活躍する企業や団体から計8名の講師を招き、オンラインにてアントレプレナー講義を行った。講義に対するオフィスアワーの時間を設けることで講師と学生間で活発な意見交換があり、一部の学生については講師が主催する企業へのオンラインインターンシップへの参加も予定されている。	大友 信秀
(4) SDGs：環境・資源開発・多文化教育	北海道大学	北極圏・北方圏の地域開発	・北東連邦大学 ・サンクトペテルブルク国立大学 ・モスクワ国立国際関係大学 ・ハバロフスク国立経済法科大学	・北海道 ・札幌市 ・北海道国際交流・協力総合センター（HIECC） ・公益財団法人　環日本海経済研究所（ERINA）	② 企業・地方自治体等との連携 2020年9月30日の北海道大学と北東連邦大学／サハ共和国と共催のオンライン寒冷地セミナー（Northern Sustainable Development Forum-2020の行事）に参加（北東連邦大学の学部生約20名が聴講）。2021年1月12日にオンラインセミナー「Multilevel Governance and Interregional Cooperation: Vol.1 - The Pacific Arctic」（英語）を、3月3日に「Japan-Russia Interregional Cooperation in the Arctic and North - Theory and Practice」をHaRP事務局と共催（日英露同時通訳）。後者ではサハ共和国対外関係局次長、ハバロフスク地方議会議長が講演。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） HaRP事務局の紹介でサンクトペテルブルク国立大学国際関係部との交流が始まり、3月4日・11日に同大学の修士課程の（留学生を含む）学生を対象にオンラインにて講演、演習に参加。	サウナワーラ　ユハ

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携（地域連携）	2020年度の活動内容（学生交流・人材育成に係る活動）	参画者の氏名
(4) SDGs：環境・資源開発・多文化教育	北海道大学	SDGs達成を目指した環境観測における無人航空機（UAV）の適用	・モスクワ国立大学 ・北東連邦大学		③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 2020年11月30日～12月3日に地球情報学における機械学習とディープラーニングに関するオンラインシンポジウムをモスクワ国立大学地理学部と共催。（参加者数・・・合計62名で、日本側6大学、ロシア側2大学と2研究機関、民間企業5社。日本側の学生は22名、ロシア側の学生も数名参加。）	アバタル　ラム
(4) SDGs：環境・資源開発・多文化教育	北海道大学	資源開発，環境保全	北東連邦大学		② 企業・地方自治体等との連携 北海道と連携してセミナーを開催した。	田畑 伸一郎
(4) SDGs：環境・資源開発・多文化教育	金沢大学	環境教育や日露SDGs教育	モスクワ国立大学 サンクトペテルブルク国立大学 カザン連邦大学 極東連邦大学 国立アルタイ大学 国立イルクーツク大学		③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） SDGs17「パートナーシップで目標を達成しよう」及びSDGs4「質の高い教育をみんなに」の達成に貢献すべく、本学の日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム「文化交流プログラム」にて学生交流および講義を行った。これらは全てオンラインで実施した。また、白峰地区の地域住民と学生の交流の場を設け、地域活性化と地域コミュニティ能力の向上を図った。	ママードゥア アイーダ
(4) SDGs：環境・資源開発・多文化教育	北海道大学	・持続可能な開発のための教育（ESD） ・ESDグローバルパートナーシップ協同教育プログラム	・サハリン国立大学 ・ウラル国立教育大学		① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 ・教育学部では6大学5か国間の双方向型短期留学支援プログラム「ESD Campus Asia Pacific」において、交流協定校のひとつであるサハリン国立大学教育学部との交流を2017年度より開始している。 ・同時に「ESDグローバルパートナーシップ協同教育プログラム」として、同2017年より同大学と3か月間の単位互換・双方向型・短期留学プログラムも開始した（学士課程の学生を2～4名派遣）。交流プログラムは、国連が掲げるSDGs を達成するための学びを異文化理解、多言語教育の観点から深め、他国での実践的経験を通じて、将来に渡る幅広い社会的教育指導者の育成を目的とする包括的な教育を目指すものである。 ・本年度は2020年度9月14-16日の3日間および2021年2月17日（終日）にサハリン国立大学の教員および学生の参加を得て、オンラインによる国際協働教育プログラム実施した。3か月の双方向受入派遣プログラムについては世界的なパンデミックの状況により、事実上実施できなかった。 なお、2020年度はウラル国立教育大学と北海道大学大学院教育学院・教育学部との間で部局間協定を締結する準備を進めた。手続きの関係上、2021年度初旬に締結完了を見通している。 ② 企業・地方自治体等との連携 本年度はコロナ禍により、積極的な呼びかけを実施することは困難であった。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） ・2020年9月に教員2名と大学院生が北東連邦大学で継続されているCold Lands Seminarの一環として企画されたパネルに参加し、アイヌ民族の社会的課題や上記教育学部のESDキャンパス・アジア・パシフィックの動向について報告を行った。 ・2021年2月18日にSDGs: Environment, Resource Development, Multicultural Educationのセッション活動の一環として、2019年度のテーマを継承し、先住民族問題をテーマとして北東連邦大学との間でseminarを共催し、大学院生および教員が参加した。 ・2021年2月25日に同SDGsセッション活動を継続し、サハリン国立大学・ウラル国立教育大学と北海道大学との間で、「ポストコロナ社会の身体―相互依存社会の新時代」と題する3大学合同セミナーを開催し、北海道大学の学部生、大学院生、教員、サハリン国立大学、ウラル国立教育大学の学生、教員を含む36名の参加があった。 　以上、2019年度以来、北東連邦大学、サハリン国+I16立大学、ウラル国立教育大学との間での学生交流・地域支援教育の遂行は定着しつつある。	池田 恵子
(4) SDGs：環境・資源開発・多文化教育	北海道大学	・東アジア・極東ロシア地域における移住プロセス ・異文化コミュニケーション	・サハリン国立大学 ・ノヴォシビルスク国立工科大学	日本ロシア語教育研究会 日本ロシア語学校教師会	② 企業・地方自治体等との連携 日本におけるロシア語教室（母語話者用ロシア語土曜学校など） ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 2月6~7日のオンライン会議 「日本におけるロシア語教育：母語・継承語・外国語～若い世代の経験、課題、展望～」によってロシア語を学習する学生やロシア出身の学生交流を推進。	パイチャゼ スヴェトラナ

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携（地域連携）	2020年度の活動内容（学生交流・人材育成に係る活動）	参画者の氏名
(4) SDGs：環境・資源開発・多文化教育	北海道大学	先住民に関する研究	北東連邦大学	北海道平取町	② 企業・地方自治体等との連携 平取町に所在する資料館と連携した。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 2020年度の学生参加者数等 7名： 国際会議Northern Sustainable Development Forumへの参加及び発表DC3名MC1名、内DC2名は文学院所属 国際セミナー・研究会Online International Seminar of Japan-Russian collaboration on Articulations of Indigenous Culture between HU SoE and the NEFUへの参加4名（内MC1名と研究生1名は発表） （上記の内MC1名は会議、セミナー合わせて2回の参加及び発表） ・2020年9月末にヤクーツク市で開催された産学官連携型の北方圏持続可能な開発フォーラム（Northern Sustainable Development Forum）に教員1名と大学院生4名（修士1名、博士3名、博士の内2名は文学院所属）に参加し、発表をした。 北東連邦大学等と共同で行った寒冷地セミナー（Cold Lands Seminar）のセッション5（9月29日）—先住民族とメディアー開発のための戦略ー（Session 5. Indigenous Media: Development Strategies）およびセッション2（9月30日）ー北方の地域ー環境、資源開発、コミュニティー（Section 2 ″The Northern community″ (″Environment, Resource Development and Community″)）に参加し、発表した。 ・北東連邦大学のSidorova准教授との共同企画として、2021年2月18日にテレビ会議による北東連邦大学の教員及び学生等との合同研究会Online International Seminar of Japan-Russian collaboration on Articulations of Indigenous Culture between HU SoE and the NEFUを開催。	ジェフリー　ジョセフ　ゲーマン
(5) 産業多様化促進	札幌大谷大学	文化	・サンクトペテルブルク国立大学 ・モスクワ国立大学	小樽商科大学	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 サンクトペテルブルク国立文化大学 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） Zoomを使用し、学生間交流を3回行った。 1．第1回オンライン学生間交流会 in Zoom（2020年8月27日） 言語は全て日本語で行った。 ・北海道と札幌について（日本学生プレゼン） ・サンクトペテルブルクについて（ロシア学生プレゼン） ・ブレイクアウトセッションでのディスカッション 2．第2回オンライン学生間交流会 in Zoom（2020年10月3日） 言語は全て日本語で行った。 ・札幌大谷大学の由来と日本の宗教について（日本学生プレゼン） ・ロシア学生の迷信について（ロシア学生プレゼン） ・ブレイクアウトセッションでのディスカッション 3．第3回オンライン学生間交流会 in Zoom（2020年11月21日） 全て言語は英語で行った。 ・札幌大谷大学の紹介（日本学生プレゼン） ・サンクトペテルブルク国立文化大学の紹介（ロシア学生プレゼン） ・ブレイクアウトセッションでのディスカッション	山田 政樹
(6) 極東産業振興	金沢大学	・海洋科学 ・環境科学 ・生態学 ・毒性学 ・魚病学 ・大気科学	・極東連邦大学 ロシア科学アカデミー極東支部 ・ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所		① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 世界展開力：日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム 1）金沢大学ロシア同窓会設立記念世界展開力（ロシア）事業ジョイントシンポジウム開催　（9月29日）分科会（環境学）で学生6名（ロシア側3名、日本側3名）の発表 2）極東連邦大学の研究室とのオンラインセミナーの開催（7月9日、10月26日） ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） ・共同利用・共同研究拠点 1）研究集会 2021/3/10 オンライン形式 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所 2）重点共同研究 ロシア科学アカデミー極東支部太平洋海洋研究所 海底湧水に関する研究。 2020年度はコロナ禍のため日本とロシア沿岸での観測をそれぞれの機関で実施、e-mailとオンラインでうち合わせ。若手研究者・大学院生・学部生の参加を通しての学生交流・人材育成に寄与。 ・ロシア極東連邦大学主催の国際シンポジウム「International Scientific Conference FarEastCon-2020(10月6-9日)」に環日本海域環境研究センター教員2名がオンラインでの発表に招へい。学生も参加。	長尾 誠也

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携（地域連携）	2020年度の活動内容（学生交流・人材育成に係る活動）	参画者の氏名
(6) 極東産業振興	千葉大学	・スマート農業 ・温室ビジネス（植物工場、食ビジネス） ・農業工学 ・園芸学	・沿海地方国立農業アカデミー ・極東国立農業大学 ・サハリン国立大学 ・ウスリースク市 ・ノヴォシビルスク国立農業大学 ・ロシア側民間企業（温室・養蜂等）	・農林水産省 ・柏市 ・イワタニアグリグリーン　株式会社 ・株式会社　プラネット ・双日　株式会社、双日食料　株式会社 ・ハンモ　株式会社 ・NPO　植物工場研究会	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 10月以降、オンラインでの学生交流プログラムを実施（サハリン国立大学、沿海地方農業アカデミー） 11月以降、ロシアからの学生受入れ、対面プログラム（講義、実習、インターンシップ）を実施（サハリン国立大学、沿海地方農業アカデミー、極東国立農業大学、ノヴォシビルスク国立農業大学） ② 企業・地方自治体等との連携 インターンシップを実施中（計画）（イワタニアグリグリーン、ハンモ、NPO植物工場研究会、プラネット等） ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 11月以降、ロシアからの学生を6名受入れ、対面プログラム（講義、実習、インターンシップ）を実施している（サハリン国立大学、沿海地方農業アカデミー、極東国立農業大学、ノヴォシビルスク国立農業大学） 今年度中にノヴォシビルスク国立農業大学と協力して、ロシア語版の教科書を出版予定	高垣 美智子
(6) 極東産業振興	東京農業大学	・食品開発 ・食文化 ・農業振興 ・海洋科学 ・露青年交流	・極東連邦大学 ・LLC Euro-Asian Trading House Innovation（ООО《Евро-Азиатский Торговый Дом《Инновация》》）	・自治体：高知県、茨城県、北海道網走市、岩手県久慈市など42件 ・教育機関：北見工業大学など8件 ・企業：ロイヤルホールディングス、野村証券、日本香堂など26件 ・日立トリプルウィン　株式会社 ・株式会社　ホーブ ・サクラ化学工業　株式会社	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 極東連邦大学の学生と東京農業大学の学生のオンラインでの交流	丹羽 光一
(7) 先端技術協力	北海道大学	生物計測化学	・モスクワ国立大学 ・メンデレーエフ記念化学工科大学	・東北大学 ・Tianma Japan株式会社	③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） モスクワ国立大学およびメンデレーエフ記念化学工科大学の学生の研究報告と北海道大学の学生の研究報告を相互に行った。	渡慶次 学
(7) 先端技術協力	東海大学	・再生可能エネルギー ・製品開発、プロジェクトを推進・牽引するグローバル人材の養成	・モスクワ国立大学 ・ドゥブナ国立大学 ・ITMO大学 ・チュメニ国立大学 ・極東連邦大学 ・サンクトペテルブルク国立大学 ・ロシア政府附属財政大学 ・モスクワ国立工業物理研究大学（MEPhI） ・モスクワ市立教育大学	・豊田通商株式会社 ・豊田通商ロシア（Toyota Tsusho RUS LLC、モスクワ） ・大阪府 ・ものづくりビジネスセンター大阪 ・「モノづくり」企業10社	③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） ブルガリアより研究者1名を招へい 大学院総合理工学研究科の公聴会開催（極東連邦大学） The 1st FEFU-Tokai Joint Workshop on Robotics Mechatronics and Control 開催 応用流体力学に関するラウンドテーブル開催（モスクワ国立大学） 共同研究発表（トムスク国立大学, MISIS, 極東連邦大学）10報	山口 滋
(7) 先端技術協力	近畿大学	・再生可能エネルギー ・製品開発、プロジェクトを推進・牽引するグローバル人材の養成	・モスクワ国立大学 ・ドゥブナ国立大学 ・ITMO大学 ・チュメニ国立大学 ・極東連邦大学 ・サンクトペテルブルク国立大学 ・ロシア政府附属財政大学 ・モスクワ国立工業物理研究大学（MEPhI） ・モスクワ市立教育大学	・豊田通商株式会社 ・豊田通商ロシア（Toyota Tsusho RUS LLC、モスクワ） ・大阪府 ・ものづくりビジネスセンター大阪 ・「モノづくり」企業10社	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 新型コロナウィルスの影響により、渡航を伴う交流は受入2名。オンラインプログラムでは、受入59名、派遣30名。 ② 企業・地方自治体等との連携 企業での受入学生インターンシップを実施した。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） オンラインプログラム「近大・ロシアものづくり学生フォーラム」を実施した。	田中 仙君
(7) 先端技術協力	金沢大学	・電子情報 ・機械工学 ・数学 ・物理学 ・物質科学 ・ナノ生命科学 ・製薬	・ カザン連邦大学 ・ 極東連邦大学 ・ ロシア科学アカデミー極東支部 ・ アルタイ国立大学 ・ ロシア製薬企業 （Visterra社）	・ 株式会社　PFU ・ 株式会社　アクトリー ・ 津田駒工業　株式会社	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 本学の日露をつなぐ未来共創リーダー育成プログラム「基礎科学プログラム」「先端科学技術プログラム」において予定していた学生交流、講義およびインターンシップを全てオンラインで行った。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 日露間で活躍する企業や団体から計8名の講師を招き、オンラインにてアントレプレナー講義を行った。講義に対するオフィスアワーの時間を設けることで講師と学生間で活発な意見交換があり、一部の学生については講師が主催する企業へのオンラインインターンシップへの参加も予定されている。	田中 茂雄
(7) 先端技術協力	大阪大学	・核エネルギー ・原子力 ・素粒子・原子核物理学 ・数値シミュレーション ・計算科学	・ 極東連邦大学 ・ 合同原子核研究所	・ 高知大学 ・ 名古屋大学 ・ 九州大学	③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） 極東連邦大学所属のポスドク研究員と共同研究を継続。	保坂 淳

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携（地域連携）	2020年度の活動内容（学生交流・人材育成に係る活動）	参画者の氏名
(8) 言語・文化・観光	東京外国語大学	・人文社会科学分野多様なビジネス分野に関わる応用力を備えた、卓越した日露ビジネス人材を育成 ・貿易・金融、観光・交通、農水産業、製造業・IT、医療通訳、報道、文化交流等の多様な分野で日露経済活動を活性化	（交流協定締結先） ① モスクワ国立大学 ② モスクワ国立国際関係大学 ③ ロシア国立人文大学 ④ 国立研究大学高等経済学院 ⑤ サンクトペテルブルク国立大学 ⑥ 極東連邦大学 ・モスクワ市立大学（協定校ではない）（JVTA主催、東京外国語大学が共催する日本アニメ上映イベント@モスクワ 2020.05.23-24での「協力校」） （インターンシップ受入ロシア企業） ・LLC RYATICO（モスクワ）	（学生交流相手） ・創価大学 ・創価学園 （高等学校） （東京外国語大学の受入学生を派遣し、学生同士の交流を進めている） ・稲城市立若葉台小学校 （国際理解を深める授業に東京外国語大学の学生とロシアからの受入学生を派遣し「ロシアについて」出張授業を行う） （インターンシップ受入先） ・日本映像翻訳アカデミー　株式会社（JVTA） ・ジェトロ ・ソニー 株式会社 ・日立建機日本　株式会社 ・横河電機　株式会社 ・伊藤忠商事　株式会社 ・三井物産　株式会社 ・住友商事　株式会社 ・株式会社　ヤマハミュージックリテイリング ・京セラ　株式会社 ・京セラドキュメントソリューションズ　株式会社 ・飯田グループホールディングス株式会社 ・ジェーアイシー（JIC）旅行センター　株式会社 ・名取事務所 ・国際交流基金 ・SAMI LLC	① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 ・短期受入：2週間のオンライン「日露ビジネスサマースクール」（タンデム学習、国際日本学、字幕翻訳インターンシップ）実施 ・長期受入：日本語及び日本の文化・社会・経済を学ぶ科目を履修 ② 企業・地方自治体等との連携 （インターンシップ受入先） ・日本映像翻訳アカデミー株式会社（JVTA）受入による 事業参加型インターンシップ「J-ANIME MEETING IN RUSSIA 」を実施した。 ・RYATICO （ロシアの貿易会社）受入による課題解決型インターンシップを実施した。 ③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） ・JVTAが受入のインターンシップ（2019年11月から約1年間）において、本学の学生22名とロシア協定校（モスクワ国立大学、モスクワ国立国際関係大学、ロシア国立人文大学、高等経済学院、サンクトペテルブルク国立大学）およびモスクワ市立教育大学の学生計36名が交流した。さらに、2020年8月より日本の大学（神戸市外国語大学、上智大学、大阪大学、筑波大学、金沢大学、近畿大学の計21名の学生も加わった。 ・春学期の「日露ビジネス講義」、秋学期の「駐在員のロシア語」、サマースクールでの国際日本学・日露タンデム学習を通じて、語学力強化を含むビジネス人材の育成が図られらた。	沼野 恭子
(8) 言語・文化・観光	東北大学	日露異文化交流	モスクワ国立大学	一般財団法人 東北多文化アカデミー（予定）	③ その他（学生交流・人材育成に関する実績） モスクワ国立大学のアレクサンドル・ラエフスキー准教授をリサーチフェローとして受け入れ，共同研究を推進した。	阿部 恒之
(8) 言語・文化・観光	神戸市外国語大学	・学術面・・・人文学、特に語学、通訳・翻訳学、外国語教育 ・教育面・・・共同研究・教材開発・共同論文指導（コチュテル）・招聘研究者による講義・相互の遠隔講義 ・自治体と大学との連携・仲介による相互の学生インターン受入れ支援、コミュニティ通訳養成	・モスクワ国立大学 ・国立プーシキン記念ロシア語大学 ・クバン国立大学 ・ウラル連邦大学 ・太平洋国立大学 ・エカテリンブルグ市	・総務省 ・神戸市 ・神戸大学 ・神戸学院大学	①大学間協定に基づく学生交流 2020年度・・・ ・モスクワ国立大学（認定） 派遣 1名 但しオンライン留学 ・クバン国立大学提供によるオンライン講座の受講10名（秋学期・春学期延べ人数） ③その他（企業・地方自治体等との連携） ・「J-ANIME MEETING IN RUSSIA」（「日本映像翻訳アカデミー（JVTA）」主催・東京外国語大学共催；2020年11月14~15日開催）の協力校として事業参加型インターンシップ覚書締結。本学よりインターン8名が参加。	金子 百合子

セクション名	日本側大学	交流分野	ロシア側相手大学等	日本の他大学・自治体・企業等との連携（地域連携）	2020年度の活動内容（学生交流・人材育成に係る活動）	参画者の氏名
(8) 言語・文化・観光	上智大学	・ロシア語 ・ロシア文化社会 ・グローバル社会	・モスクワ国立大学 ・モスクワ国立言語大学 ・サンクトペテルブルク国立大学 ・サンクトペテルブルク国立文化大学 ・ゲルツェン記念ロシア国立教育大学 ・リャザン国立大学 ・ヴォロネジ国立大学 ・ペトロザヴォーツク国立大学 ・極東連邦大学		① 大学間/部局間協定に基づく学生交流 派遣 11名（当初計画　春出発10→途中帰国、秋出発1→留学中止） 受入 2名（オンライン履修）、うち1人はJanuary Session） 現在9大学と交換留学協定を締結しており、ロシア語、ロシア文化社会、グローバル社会の分野において、単位互換に基づく学生交換を実施している。2020年度においても継続的に各大学と双方向の学生交換を行い、春学期（2020年2~3月出発）より、6大学に10名の学生を派遣した。ただし、新型コロナウィルス感染症の影響で3月には全交換留学の派遣の中止を決定したため、ロシアへ派遣した学生も全員、出発直後(3月中）の帰国を余儀なくされた。20年秋学期についても、1大学に1名派遣予定だったが、留学中止となった。なお、留学中止となった学生の大半はオンライン受講の機会があっても留学を見送ったが、21年度の交換留学に再応募した学生等、引き続き留学を希望し可能性を探っていた者もいる。また、若干名ではあったが、帰国後も担当教員の厚意により、春学期中オンラインで一部の現地授業に参加させていただいたケースもあった。 　一方、交換留学生の受入については、2020年度は春学期・秋学期ともに渡日を伴う受入は中止したが、春学期は2019年度継続者のみオンラインで授業を履修した。秋学期は新規でオンライン留学を受け入れ、サンクトペテルブルク国立文化大学から1名受け入れた。また本学が毎年1月に実施している短期受入プログラムJanuary Sessionも今年はオンラインで行い、ロシアから1名の学生を受け入れた。	杉村 美紀